

令和3年度 第1回 碧南市介護保険運営協議会会議録

1 日時

令和3年8月5日（木） 午後1時30分～午後2時50分

2 場所

碧南市役所 2階 会議室1

3 出席者

- (1) 委員 三島博、河原厚司、永坂幸子、大田康博、堀尾静、下村美幸、
沢井智美、齋藤健、藤田敏江、山田正教、榊原由太郎、
禰亘田悦子、磯貝靖子、杉浦信子、磯貝厚子、鈴木礼子、井上卓、
小林清彦
(計18名)
- (2) 事務局職員 健康推進部長 山本政裕、高齢介護課長 鈴木美奈子
健康課長 磯貝幸満、高齢介護課課長補佐 杉浦洋子
高齢介護課長補佐 小林圭介、高齢介護課介護保険係長 石川基
健康課成人保健係長 石川麻子、高齢介護課主事 伊藤寛貴
高齢介護課主事 林拓寛
(計9名)

4 傍聴者

0人

5 議題

- (1) 令和2年度介護保険事業の決算状況について（資料1）
- ア 介護保険給付の状況
- イ 地域支援事業の状況
- （ア）介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況
- （イ）地域包括支援センター事業の実施状況
- （ウ）包括的支援事業（社会保障充実分）の実施状況
- （エ）任意事業の実施状況
- ウ 地域密着型サービスの状況

(2) 令和2年度高齢者福祉事業の決算状況について（資料2）

(3) 介護保険事業計画の進捗状況について（資料3）

6 議事録

【事務局】

開会の挨拶、会長の任命

【会長】

挨拶、副会長の指名

【事務局】

議題(1)の説明

【A委員】

資料1の2ページ、(5)介護認定の未更新者数について、未更新の詳しい理由はわからないとのことだが、上に記載してあるグラフでは、要支援1の改善した方は0%となっている。要支援1から認定が無くなった方の数字はここには入っていないということでよいか。

【事務局】

要支援1から非該当になった方は0名ですので、そのようになります。

要支援2の方の8.4%改善という数字の中には、申請の結果、非該当になった方が含まれております。

【A委員】

未更新者の中で、何名の方が状態が良くなったかという数字はこのグラフには表れていないということですか。

【事務局】

そのようになります。

【A委員】

つまり、要支援1の状態から認定が無くなった方は、いたかもしれないがこのグラフには表れていないということでしょうか。

【事務局】

そのようになります。更新を受けず認定が無くなったということになりますので、実際は本人の状態が改善しており、サービスが不要になった方の数値はここには入っておりません。

【A委員】

要支援2から非該当になった方は、グラフに含まれているということでしょうか。

【事務局】

そのようになります。ただし、未更新の方については、グラフに含まれていないということになります。

【A委員】

せっかくならば、要支援1から状態が改善された方の数字も掴めていると良いと思う。

【事務局】

要支援認定を受けてる方で、更新をしなかった方については、各地域包括支援センターで把握しております。未更新の理由につきましても把握はしております。

【A委員】

そのように内容を掴んでいるのであれば、今回の資料にも反映させた方が良いかと思います。

【事務局】

議題(2)の説明

【A委員】

資料全体を通して、目標値と目標達成率が記載されておりわかりやすい。

その為、資料1の11ページ、筋トレルーム60についても、目標値や達成率を記載すると良いと思う。

【B委員】

新型コロナウイルスの影響によって、行事等が軒並み中止になっていることの影響を危惧しております。自身の免疫力を高めるためにも、高齢者の健康と生きがいづくりの場というのはとても重要だと思っている。

その為、こういった機会の提供や行事等ができていないことによる新たな課題や問題が発生していないかどうか、身体的活動ができないことによる介護度等への影響がないかどうか、それらの検証についてどのようにお考えですか。

【事務局】

昨年度につきましては、感染拡大防止の為、各行事等を中止や縮小していったという経緯があります。国からも感染予防対策を十分にした上で通いの場を開催するという方針も出ておりますので、今年度については、感染予防対策をとりつつ事業を進めているところです。

今のところ、新型コロナウイルスの影響による、閉じこもり増加や認知・身体機能の低下といった問題、課題が多くなっているか等の詳細につきましては把握できておりません。ご意見を踏まえながら事業の実施についても検証していきたいと思っています。

【事務局】

議題(3)の説明

【C委員】

進捗管理の中で、自己評価があることがとても良いと思う。ただし、課題と対応策が記載されている中で、その先のアクションプランが無いので、これからどうしていくのかということを示してほしい。

【事務局】

参考にさせていただきます。

【D委員】

新型コロナウイルス感染者が出た場合の各事業所の対応を教えてください。

【E委員】

通所系や施設系など事業形態によって、様々な感染対策をして運営している状況です。

例えば通所系ですと、サービス連絡協議会からも通知を出しまして、複数の事業所を利用している場合はなるべく一か所にしてもらったり、陽性者との接触が疑われる場合は10日ほどお休みしていただいたりといった対策になります。

施設については、基本的な感染症対策の徹底に加えて、施設内を細かく区分けするゾーニングを実施し、共有スペースをなるべく減らしております。また、保健所等と連携し感染症対策の専門家のアドバイスをいただいたりしております。この6月以降は入居者様、及び職員の多くがワクチン接種を進めております。状況は昨年と比較して変化してきておりますが、引き続き感染症対策は徹底しています。

愛知県からのPCRのスクリーニング検査も活用し、月に2、3回実施しているところです。以上のようなことも踏まえ、今後感染者は少しずつ減っていくのではないかと考えております。

【F 委員】

慎重すぎるという意見もありますが、ご家族に発熱者がいる場合や利用しているデイサービスで感染が疑われる方がいる場合は結果がはっきりするまではサービスの利用は控えていただくようお願いしています。また、事業所とケアマネジャーでもこういった情報は共有させていただいて、早め早めの対応をしてまいりました。それによっても、ある程度の効果はあったと考えております。

【B 委員】

事業所の予防対策により、1年前と比較し、格段に環境は整ってきている。また、ワクチン接種率の向上によって、重症化を防ぐという意味でも環境はだいぶ変化してきていると思っております。

ただ、何の為に重症化しやすい高齢者に先行してワクチンを打ったのか、今後は、ワクチンを打った方に対してどうしていくのかを検証してみてもいいと思います。

議題終了

【事務局】

挨拶

終了